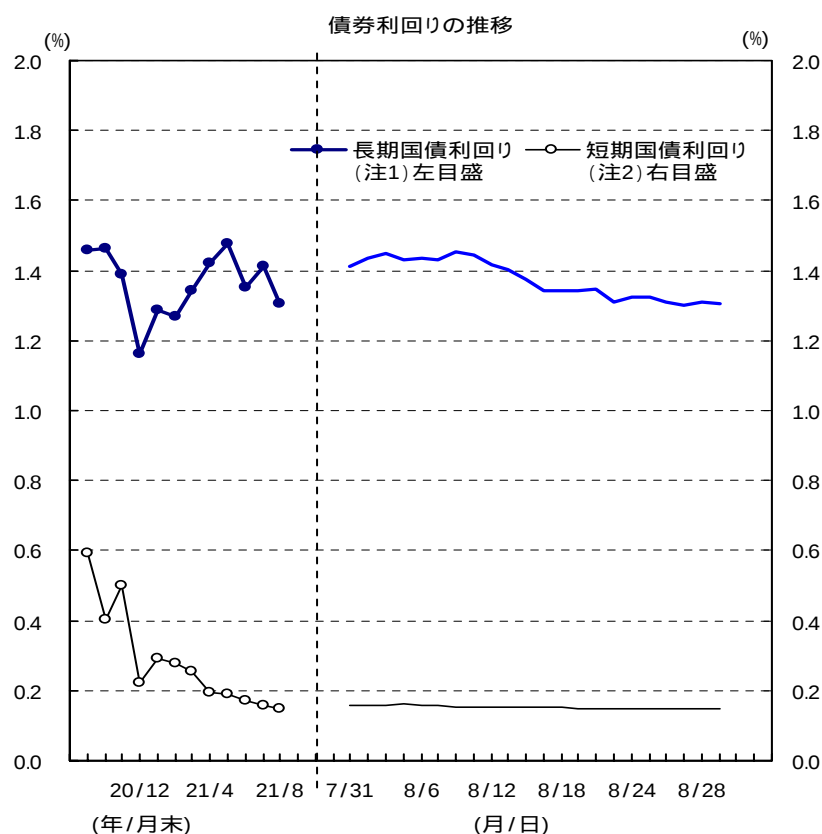


平成 21 年 8 月の公社債市場

(1) 流通市場

10 年国債の利回り(注 1)は、月初は前月からの流れを受けて、国内の株価の堅調な推移を背景に緩やかに上昇(価格は低下)し、10 日には、1.454%となった。中旬に入ると、夏休み等で市場参加者が乏しくなる中、12 日の米国 F O M C において、米国の低金利政策が長期間継続される見通しが示されると、将来の金利上昇懸念が薄れ、米国債に対する買い安心感が広がったことを受けて、日本の利回りは低下(価格は上昇)に転じた。以降、円高の進行に加え、国内物価の下落や雇用情勢の悪化など、経済指標が景気の悪化を示したこと等から、利回りは月末に向けて低下を示し、27 日には、1.300%となった。月末時点では前月比 10bp 減の 1.306%となり、1 ヶ月ぶりに 1.3%台となった。

国庫短期証券の利回り(注 2)は、特段の材料がない中、月中を通じて 1.5%を挟む水準で推移した。月末時点では、前月比 1bp 減となる 0.149%となり、7 ヶ月連続の低下となった。



(注1) 長期国債(10年) 直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
 平均値(単利)。

(注2) 国庫短期証券(3か月) 直近発行に係るものの公社債店頭売買参
 考統計値の平均値(単利)。

[平成 21 年 8 月の主なトピックス]

日 付	トピックス
8 月 7 日	米国雇用統計発表 非農業雇用者数 前月比 24.7 万人減 減少幅は前月より減少。
8 月 1 0 日	6 月機械受注発表 前月比 9.7%増 (前回 : 前月比 -3.0%) 同日の東京株式市場では、日経平均株価は 10524 円となり、年初来高値を更新。
8 月 1 1 日	日本銀行 金融政策決定会合開催 (10 日、11 日開催) 全員一致で現状の政策金利を据え置くことを決定。 景気判断は、「下げ止まっている」と前回から据え置き。
8 月 1 2 日	米国 FOMC 開催 (11 日、12 日開催) 米経済について、悪化から横ばいの状態に移った旨の景気認識を上方修正。 長期国債買入れについて、買入れ規模を維持したまま、期間を延長する方針。 政策金利であるフェデラルファンド (F F) 金利の誘導目標は 0-0.25% に据置き。
8 月 1 3 日	米国 7 月小売売上高発表 前月比 0.1%減 米国長期金利は前日比 11bp 減の 3.60% まで低下。
8 月 1 7 日	東京株式市場 日経平均株価は終値 10268.61 円となり、前日比 328.72 円の下落。
8 月 2 1 日	外為市場 1 ドル = 93.93 円まで円高が進行。1 ヶ月ぶりの水準。
8 月 2 8 日	7 月全国消費者物価指数発表 生鮮食品を除く総合指数は 100.1 となり、前年同月比 2.2% 下落。 前年同月比では 3 カ月連続で過去最大の下落率を更新。
	7 月完全失業率 (季節調整値) 発表 5.7% 前月比 30bp の増加となり、過去最悪の水準。

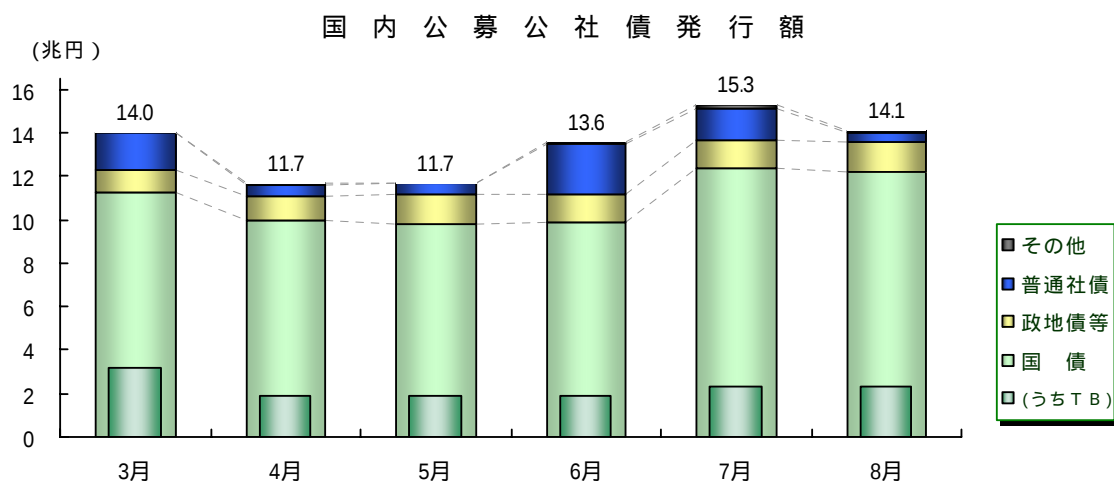
日 付	長期国債（注１）		短期国債（注２）	
		参考統計値		参考統計値
7月31日	302 回債(発行済)	1.410	45 回債	0.159
8月3日		1.434		0.159
4日		1.449	↓	0.159
5日		1.430	47 回債	0.160
6日		1.435		0.159
7日		1.430		0.156
10日		1.454		0.155
11日		1.445	↓	0.155
12日		1.416	49 回債	0.152
13日		1.405		0.154
14日		1.376		0.154
17日		1.344		0.154
18日		1.342	↓	0.153
19日		1.344	50 回債	0.149
20日		1.345		0.150
21日		1.310		0.150
24日		1.324		0.150
25日		1.324	↓	0.150
26日		1.310	51 回債	0.149
27日		1.300		0.149
28日		1.310		0.149
31日	↓	1.306	↓	0.149

（注１）長期国債（10年）直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

（注２）国庫短期証券（3か月）直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

(2) 発行市場

平成 21 年 7 月の国内公募公社債発行額は、14 兆 1296 億円となり、前月比 1 兆 1623 億円の減少（7.6%減）となった。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
 2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
 3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
 4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

国債

・国債の発行額は、12 兆 2338 億円となり、前月比 1.2%の 1457 億円の減少となった。

発行額(億円)	平成21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
国 債	112,526	99,878	97,627	98,818	123,795	122,338	1,457
(うち 割引短期国債)	(32,000)	(19,000)	(19,000)	(19,000)	(23,000)	(23,000)	(0)
(うち 個人向け国債)	(0)	(3,208)	(0)	(0)	(4,873)	(0)	(4,873)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

地方債、政府保証債及び財投機関債等

・政府保証債の発行額が増加したものの、地方債及び財投機関債の発行額が減少し、合計額としては前月比 1.1%減の 1 兆 3064 億円となった。

発行額(億円)	平成21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
地方債	6,534	4,530	5,795	5,957	6,380	4,752	1,628
(うち 住民参加型)	(234)	(80)	(80)	(307)	(80)	(252)	(172)
政府保証債	2,721	2,650	3,550	4,800	3,300	5,200	1,900
財投機関債	1,428	3,550	4,527	2,079	3,423	3,112	311
地方公社債	30	0	150	120	110	0	110
計	10,712	10,730	14,022	12,956	13,213	13,064	149

普通社債

- ・普通社債の発行額は、資金需要が一巡したことから、電力債、一般事業債及びN T T・J R・J T債の発行額はいずれも減少し、合計額としては前月比 64.8%減の 4894 億円となった。個人向け社債の発行額は、大手金融機関の発行などがあり、前月比 3050 億円増加となる、3200 億円となった。

発 行 額 (億円)	平成21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
普通社債	16,632	5,780	5,150	22,905	13,890	4,894	8,996
(うち 個人向け社債)	(8,030)	(650)	(100)	(2,592)	(150)	(3,200)	(3,050)
電力債	200	700	1,300	600	1,500	200	1,300
一般事業債	8,750	2,680	1,750	13,682	6,500	1,460	5,040
NTT・JR・JT債	200	1,000	400	3,100	500	0	500
銀行社債	7,482	1,400	1,700	5,343	5,390	3,234	2,156

- (注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。
 2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

円建外債、C B 及び資産担保型社債

- ・円建外債は今月は 2 銘柄が発行され、発行額は前月比 1031 億円減の 1000 億円となった。

発 行 額 (億円)	平成21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月比
C B	0	0	0	0	0	0	0
資産担保型社債	6	0	0	0	0	0	0
円建外債	300	500	0	930	2,031	1,000	1,031
計	306	500	0	930	2,031	1,000	1,031